

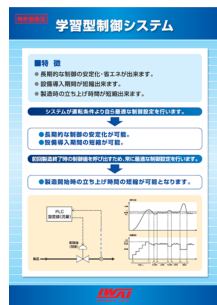
配信日：2019年09月25日

岩井ファルマテック(株)のメールマガジン、【Iwai Pharma Tech通信】を配信致します！
9月に入り夏休みも終わりましたね。 夏休みと言えば課された宿題が終わらず、提出のために
四苦八苦した記憶が蘇ります。

課された宿題と言うインプットに対して、提出というアウトプットのために計画をコントロール
する必要がありますね。
これは装置を稼働させる時にも通じるものがあるかと思います。
装置をフル活用するためには稼働条件を制御する必要があります。

そこで今回は、学習型制御システムに関する技術を紹介致します！

学習型制御システム



◆1:技術紹介

装置が稼働している際、最も重要な問題の一つにその
運転が「目的通りの運転をしているのか」が挙げられる
と考えられます。

例えば、温度や圧力、流量などのパラメータを目的とす
る条件に一致しているかは重要になります。

一致していれば状態を保ち続ける事、ズレていけば修正
して、目的条件に合わせていく必要があります。

本技術はここで、効力を発揮致します！

◆2:特徴

システムの特徴は下記の通りです。

- 運転の長期的な安定の維持が出来ます。
- 外乱を受けにくい制御が可能です。
- パラメータ設定の労力が減ります
- 目的通りの運転後、制御値を記憶するので、再開時がスムーズに目的値に達します。

◆3:システムの導入メリット

通常の制御では難しい内容でも、本システムでは実現が
可能です。

また運転の長期的な安定性から、装置による製品の不備
が少なく、ロスを可能な限り低減します。